

目次

■ごあいさつ		1
■図版		4
■事業報告		
山形大学附属博物館のクラウドファンディングについて		10
山形大学附属博物館と結髪土偶		15
■保存修理報告書		
山形大学附属博物館所蔵結髪土偶の保存修理	江野 朋子・岡田 一郎	18
山形大学附属博物館所蔵結髪土偶の保存修理に係る顔料分析調査	大橋 有佳	21
■令和2年度山形大学附属博物館公開講座「結髪土偶立ち上がる！」		
結髪土偶のふるさと	大宮 富善	25
結髪土偶は自立していたのかー動作連鎖研究から見た縄文土偶ー	會田 容弘	30
土偶とは何かー結髪土偶と縄文社会ー	白石 哲也	35
■2020年度ESDティーチャープログラム山形会場(奈良教育大学次世代教員養成センター)		
第6学年 社会科 学習指導案	佐藤 亨樹	41
第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案	新宮 済	45
■謝辞		49
■資料		
READYFORプロジェクトページ		49
フライヤー		50
新聞掲載記事		51

凡 例

- 本書は山形大学附属博物館クラウドファンディング「90年ぶりに再会した左脚を接合し結髪土偶を立ち上がらせたい！」(2019年7月22日～9月20日)の事業報告書である。
- 署名記事毎に個人名、年代、出典等の表記が異なるが、執筆者の表記を尊重し、統一していない。
- 2020年度ESDティーチャープログラム山形会場の学習指導案(奈良教育大学次世代教員養成センター)は、以下のいずれかの用途に限り、利用可能である。学校の特色や学年・学級の実態に合わせ、授業や教育研究の資料としてご活用されたい。
 - ・教育機関での授業への利用および学習指導案作成のための利用
 - ・授業方法研究のための利用
 - ・教育機関での非営利かつ教育目的での利用
- 本書の署名記事以外は、押野美雪(当館学芸員)が執筆した。
- 本書の編集は、新宮学(前館長)、佐藤琴(当館学芸研究員)、因幡敬宏(当館学芸員)の協力を得て、押野美雪が担当した。

謝 辞

本書の制作にあたって下記の機関および個人より多大なるご協力を賜りました。ここに記して感謝を申し上げます。(50音順・敬称略)

株式会社山形新聞社 国立大学法人奈良教育大学 公益財団法人山形県埋蔵文化財センター 寒河江市
縄文工房 東北大学総合学術博物館 有限会社ホワイトラビット
阿部明彦 大西浩明 菊地逸夫 小林圭一 佐々木理 菅原哲文 高橋卓也 中澤静男 藤澤敦 堀江格